

大塚流！
損切りで失敗しないFX手法

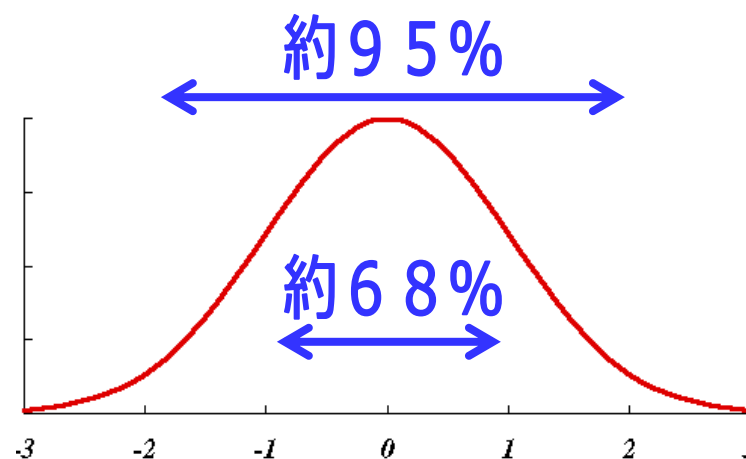
複合的なチャート分析

- ▶ トレンド分析とオシレーター分析を組み合わせた分析
⇒ ボリンジャーバンドとRCI（順位相関関数）
- ▶ チャートはたくさんあり、色々な分析を参考にしても問題はない
⇒ ただ、情報が多すぎると人は決定ができない！
- ▶ 基本的には1～2個に絞るべき

ボリンジャーバンドとは（基本編）

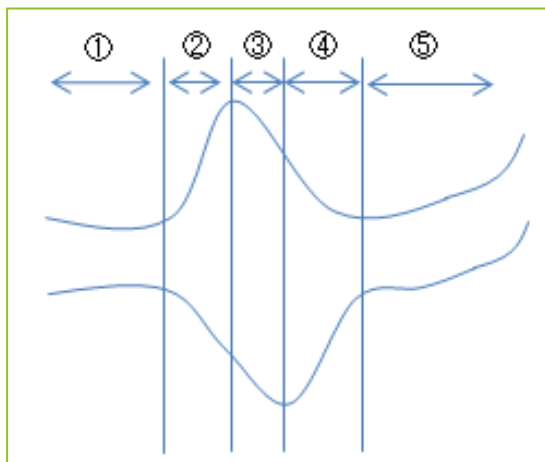
- ▶ ボリンジャーバンドは標準偏差を用いて相場を分析する手法
- ▶ 標準偏差(σ)とは平均からのばらつきの程度をあらわすもの
- ▶ 多くのデータがあれば平均に近いデータが多くなり、これを正規分布という
- ▶ 相場と移動平均との関係は正規分布のようになるとの考えがボリンジャーバンドの基本

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\frac{(\text{各データ} - \text{平均})^2 \text{の合計}}{\text{データの数} - 1}}$$



ボリンジャーバンドとは（バンド幅）

- ▶ ボリンジャーバンドにおいて重要な概念としてバンドの上限と下限の幅
- ▶ バンドの上下限の動きには基本的に5つの形状



- ▶ ①バンドの上下限が横ばい
- ▶ ②バンドの上限が上昇、下限が下落
- ▶ ③バンドの上下限が下落
- ▶ ④バンドの上限が下落、下限が上昇
- ▶ ⑤バンドの上下限が上昇

RCIとは（基本編）

- ▶ 価格の上昇幅や下落幅、および価格水準を敢えて無視して分析を行う
- ▶ 一定期間における価格データの順位関係のみに着目する分析
- ▶ 相場が連騰していれば、日々の順位は日付の順位と一致
- ▶ 逆に連敗であれば日々の順位は日付の順位とまったく逆
- ▶ それでは普段は連騰に近いのか、連敗に近いのかという疑問から生まれた分析
- ▶ RCIは日付の順位と、価格の順位との間の相関性を考える
- ▶ 相場が足もとの動きにおいてどれだけ上昇あるいは下落してきたかを知る分析

RCIとは（相関性）

日付	価格	日付順位	価格順位
10/5	140	1	1
10/4	130	2	2
10/3	120	3	3
10/2	110	4	4
10/1	100	5	5

相関性が高いデータ

日付	価格	日付順位	価格順位
10/5	100	1	5
10/4	110	2	4
10/3	120	3	3
10/2	130	4	2
10/1	140	5	1

相関性が低いデータ

日付	価格	日付順位	価格順位
10/5	130	1	2
10/4	80	2	5
10/3	90	3	4
10/2	150	4	1
10/1	100	5	3

相関性は・・・？

RCIとは（計算方法）

- ▶ 日付の順位と価格の順位との間の相関性を考える上で、スピアマンの順位相関関数を用いる

$$RCI(n) = 100 \times \left[1 - \frac{6 \times \text{SUM}}{(n^3 - n)} \right]$$

※SUMは日付順位と価格順位の差の2乗の合計値

日付	価格	日付順位	価格順位	差	差の2乗
10/5	130	1	2	1	1
10/4	80	2	5	3	9
10/3	90	3	4	1	1
10/2	150	4	1	-3	9
10/1	100	5	3	-2	4



$$RCI(5) = 100 \times \left[1 - \frac{144}{120} \right] = -20$$

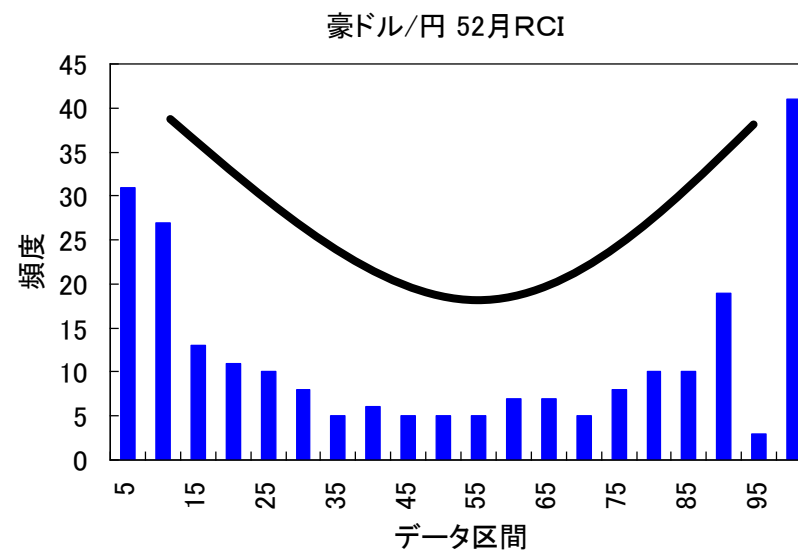
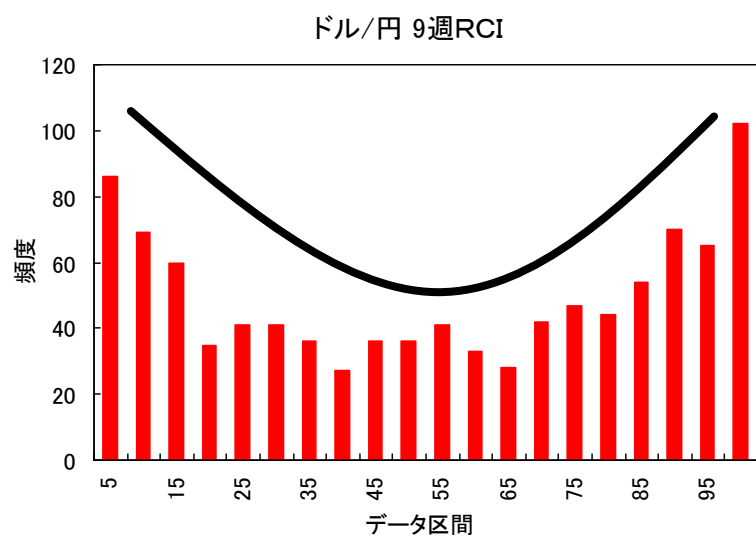
スピアマンの順位相関関数は-1～1の間を動くので、RCIの取りうる範囲も-100～100の間となります。
ただ、RSIやストキャスティクスなどとあわせるために、修正RCIを計算します。

$$\Rightarrow \text{修正RCI} = 0.5 \times (RCI + 100)$$

上述のRCI(5) = $0.5 \times (-20 + 100) = 40$ という事になります。

RCIとは（経験的確率分布）

- ▶ RCIの数値の度数分布をとると、その特徴が浮かび上がる



ボリンジャーバンド & RCI分析 (実践編)



ボリンジャーバンド & RCI分析 (実践編)



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生の可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562